

無産運動は沈滞した、特に吾々農民の運動は都會の勞働者と異なり組織に乏して非常なる困難を感じて居る。現在の無産運動に難局を齎らした原因は從來の運動が直輸入であり一般大衆と伴はず或は怖はからせを持たせた事だ、特に五、一五事件以來多數の愛國團體が現れ、他方組合指導者の無用なる言論と資本家の分裂策動に依りこの沈滞を齎らした。無工業はインフレで幾分の活況を示し、輸出に於ては異常なる進出を見る今日内に於ては農村は疲弊し、中小工業は窮乏して居る之に對する對策は何等見るものなし、現在の制度では何人たりとも改革は出来ない、吾々自身確固たる信念を以て議論でなく實際に民衆と手を握ることが無産運動の根本である。反助の強き北九州に於て諸君と共に合理的な社會への温き

協力を望む。

日本製鐵従業員組合 若杉 熊太郎

關東、關西の聯合會より以上に困難なる北九州の情勢に在りて第七回大會の盛大を喜ぶ、吾々先輩同志は過去二十年間あらゆる斷崖の下に戦つて來たのである共產主義は吾々の運動發展を阻害するものであるか故に徹底的に撲滅せねばならぬ、組織勞働者の八割を占むる組合會議が國家の爲産業協力を進進し、茲に九州聯合會の大會を持つことは頭迷横暴なる資本家の一大悲感である。

9、資格審査委員會報告

内野 駒太郎

製鋼勞働小倉支部

五一名

日本石炭坑夫組合

七名

セメント勞働門司支部

二二名